

記者会見資料

理財部 財政課
(担当 片柳 22-9331)

1. 件 名

令和6年度当初予算(案)の概要について

2. 内 容

(1) 予算編成の考え方

本市の財政を取り巻く環境は、市税収入がコロナ禍からの回復傾向にある一方、景気の先行きには依然不透明な状況が見られます。こうした中、大雨災害等に対する防災・減災対策、老朽化が著しい公共施設の長寿命化対策、「ゼロカーボンシティ」「ネイチャーポジティブ」の両立、急速な少子化・人口減少に歯止めをかけるためのこども・子育て政策の強化などの課題に対し、将来を見据え、継続した取り組みが求められております。

これらを踏まえ、令和6年度当初予算は、市民の「安全・安心な暮らし」を確保することを最優先事項に掲げ、道路・橋梁や公園、学校、保育所等公共施設の維持修繕・長寿命化対策について、予算を重点的に配分することとしております。

また、市民が今後も住み続けたいと思える田園環境と都市環境の調和が取れた「田園環境都市おやま」を将来にわたり持続的に発展させるとともに、「第8次小山市総合計画」に掲げる諸施策について、SDGsとの一体化を図りながら、効率的・効果的に推進することができるよう予算を編成いたしました。

(2) 予算の規模

令和6年度一般会計当初予算の規模は、前年度比 31億円、4.6%増の712億円(過去最大)となりました。

(排水強化対策、小中学校トイレ改修、小学校校舎LED化等について、令和5年度補正予算への一部前倒し 約8億7千万円)

(3) 予算の特徴

① 「田園環境都市おやま」の推進

将来に渡りゆとりと潤いのあるまちとして発展させるため、「田園環境都市おやまビジョン」を完成させるとともに、令和8年度を初年度とする「第9次小山市総合計画」の策定に着手し、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

② 「ゼロカーボンシティ」「ネイチャーポジティブ」の両立

令和5年10月1日に宣言した「ゼロカーボンシティ」「ネイチャーポジティブ」の両立に向けて、脱炭素移行へのロードマップの策定や、平地林の保全・管理モデルの構築により、本市の豊かな環境の次世代への継承に取り組んでまいります。

③ 公共施設の適正管理及び長寿命化

老朽化が著しい道路・橋梁、公園、学校、保育所等の公共施設の長寿命化対策を推進するとともに、人口減少社会を見据えた公共施設の最適な配置に取り組んでまいります。

④ 防災・減災対策の強化

台風や集中豪雨による大規模浸水被害への対策として、豊穂川の河道の拡幅・築堤をはじめ、豊穂川・杣井木川流域への調節池の整備や集団移転の推進等、排水対策の強化に取り組んでまいります。

⑤ 社会基盤の整備

生活基盤として、城山町三丁目第二地区市街地再開発、栗宮新都心第一土地区画整理及び小山駅東口駅前広場の他、文化・スポーツ施設として、間々田のじゃがまいた伝承館、サッカー場及び弓道場の整備等を着実に推進してまいります。

⑥ 少子化対策の抜本強化

安全・安心な子育てしやすい環境づくりとして、間々田地区新設保育所、新・羽川小学童保育館及び乙女小第三学童保育館等保育施設の整備のほか、児童手当の拡充等、ハード・ソフト両面での取り組みを推進してまいります。

(参考) 主な経費の比較

(単位: 百万円、%)

性質別	令和6年度		令和5年度		対前年度比		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	構成比
義務的経費	33,765	47.4	31,666	46.5	2,099	6.6	0.9
人件費	10,168	14.3	9,843	14.5	325	3.3	△ 0.2
扶助費	17,273	24.2	16,175	23.7	1,098	6.8	0.5
公債費	6,324	8.9	5,648	8.3	676	12.0	0.6
投資的経費	7,790	11.0	9,444	13.9	△ 1,654	△ 17.5	△ 2.9